

## 平成 30 年度 第 2 回日野市行財政改革推進委員会会議録（要点版）

1. 日 時：平成 31 年 2 月 25 日（月） 午後 6 時 15 分から 8 時 15 分
2. 場 所：市役所 5 階 507 会議室
3. 出席委員：金子委員長、岡本副委員長、淡野委員、伊野委員、宇都委員、小林委員  
欠席委員：なし
4. 事務局：大島企画部長、村田財政課長、伊藤企画経営課検査担当主幹、  
萩原企画経営課行財政改革担当主幹、村林企画経営課経営係長、谷口主任
5. 傍 聴 者：なし
6. 議 事 等  
議事（1）第 5 次日野市行財政改革大綱・実施計画の取組状況について  
（平成 30 年度下期中間報告）  
議事（2）第 5 次日野市行財政改革大綱・実施計画の平成 31 年度計画（案）について（新規取組  
項目など）  
議事（3）その他（事務連絡など）

### 《資料》

- 【資料 1】第 5 次行財政改革大綱実施計画 平成 30 年度進捗状況一覧（平成 31 年 1 月末現在）
- 【資料 2】平成 30 年度日野市行政評価結果
- 【その他】広報ひの（平成 31 年 1 月 15 日号・平成 31 年 2 月 15 日号）

### 【議事等内容】

（事務局）

- 平成 30 年 11 月 12 日に開催いたしました第 1 回会議に続くものとなります。
- 最初に配布資料の確認をさせていただきます。まず、本日の次第それから、資料でございます。  
—配布資料確認—
- そのほか、事前にお送りさせていただいています、第 5 次日野市行財政改革大綱実施計画【平成 30 年度（2018 年度）版】です。

### 【部長あいさつ】

- お忙しいところ、お越しいたきましてありがとうございました。
- 皆様から頂いたご意見を踏まえて「第 5 次行財政改革大綱実施計画【平成 30 年度版】」の実行をしているところです。平成 30 年度もあと 1 か月と少しで終わるところです。
- 本日は、その進捗をご確認いただくということと、平成 31 年度、途中で元号も変わりますので、2019 年度にどうするのかというようなご意見をいただければと思います。
- 歳入を増やすには人口の増加、獲得が欠かせませんというご意見もこの会議の中でもいただきましたが、なんとんでも「日野市の認知度が低い」。これを上げたい。
- そこで、シティプロモーションの一環で、来年度は、日野市の生んだメジャー人物幕末新選組副長の「土方歳三」の函館で戦死して没後 150 年事業と銘打ち、タクシー事業者との協働によるラッピングタクシーの運行などなどさまざまな団体にご協力いただき、「市だけでがんばらない」さまざまな取組みを行います。

- この取組は、新聞、テレビ、ラジオにも取り上げていただきました。今後、どう展開するかが課題ですが、行革で取り組んだ成果の「お金と人」を、新しい取組みに展開しているということでございます。
- 明日、2月26日から平成31年度第一回市議会定例会が始まります。
- 国民健康保険税の税率改定などの負担増について「行革推進」反対の立場で一般質問がある予定です。
- 市の将来を見据えて、やらなければならないことはしっかりやっていく、市民への説明責任もしっかり果たしていくという姿勢で取り組みたいと思います。皆さまの応援、ご意見が糧になりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

#### <事務局>

- 議事録作成のため、録音をさせていただきます。
- 議事録は要点筆記で作成、委員名は削除し、日野市ホームページに掲載予定です。
- 次に傍聴希望者の有無のご報告です。傍聴希望者はいらっしゃいませんでした。以上、報告いたします。
- ここからは金子委員長、議事進行をよろしくお願いいたします。

#### 【議事（1）】

##### <委員長>

- 議題1に入ります。
- 議事（1）第5次日野市行財政改革大綱・実施計画の取組状況について（平成30年度下期中間報告）  
事務局から説明をお願いします。

##### <事務局>

- 資料1の内容をご説明いたします。【資料1】第5次行財政改革大綱実施計画 平成30年度進捗状況一覧（平成31年1月末現在）をご覧ください。平成30年度1月末現在の進捗について、大綱実施計画の項目で一覧にしたものです。前回の平成30年度第1回会議で、9月末現在の進捗状況をご報告した、その後の進捗を追記あるいは修正したものでございます。
- 主なものについて、ご説明をするとともに、現在の進捗内容について、ご意見をいただければと思います。
- 一番左の番号によりご説明いたします。
- No.5、「新たな広告収入の確保」でございます。平成31年1月に日野市立図書館のホームページをリニューアルした段階で、トップページに「広告枠」を新設いたしました。残念ながら、まだ広告枠の応募はありませんので、3月1日号の広報で募集記事を掲載するとのことです。広告料金は1枠12か月で16,000円です。
- No.10、クラウドファンディングの推進です。現在担当が準備中で、明日から開会する3月議会で平成31年度予算案としてご審議いただくことになる予定ですが、土方歳三没後150年関連事業に係るクラウドファンディングの実現を計画しているところです。日野市で生誕した土方歳三をテーマにシティセールスを推進していますがこの資金を集める活動となる予定です。

- No.18、「手数料、使用料等見直し基準に基づく手数料、使用料の見直し」です。基準に基づき、現在はまだ検討中というところですが、長らく見直しを行っていなかった「証明手数料」や「施設使用料」等について、額の妥当性を検討しています。額改定が必要という判断をする場合に、今後設置する「手数料、使用料等検討委員会」でご意見をいただき、改定の作業を行っていく予定です。
- No.20、No.21、市立保育園と幼稚園の保育料に見直しの項目です。これは、市での額改定ということではなく、国の保育料等の利用者負担の無償化ということにより、市の負担額が増えるというような項目です。
- No.25、自転車等駐輪場使用料の見直しです。現在無料で運営している甲州街道駅周辺の駐輪場を再編し、平成31年12月の有料立体駐輪場の開設に向け、9月議会での条例改正を上程する準備を行っています。
- No.36、市立病院の非紹介患者初診加算料金等の見直しです。これは同加算料を1,500円から3,000円に改定するという内容で、平成30年12月議会において条例改正議案が可決されました。平成31年4月1日施行となります。市立病院とかかりつけ医の診療機能分担を目的としたものです。
- No.43、市が独自財源のみで実施している事業の見直しです。今年度の市民評価、本部評価を行った10事業のうち5事業について今後の方向性の確認を行いました。
- No.47、喫煙マナーアップ事業のあり方を見直しです。これは平成29年度行政評価結果の反映ですが、6月の日野駅西口の喫煙スポットの撤去に続き、12月に市庁舎6階喫煙所を撤去いたしました。駅前のスポットが減ったことで、清掃委託が若干減りました。行政評価では、今後の喫煙対策についても進めることとなっていますので少しずつ進んでいます。
- No.55、国民健康保険特別会計の健全化です。平成30年12月議会で条例改正案が可決されましたので、平成31年4月から改定された税率となります。
- No.78、学校給食調理業務の民間委託の推進です。平成31年4月から第3小学校を民間委託し、平成32年4月には南平小学校を民間委託する予定です。
- No.79、平成32年度末で第5幼稚園の閉園を決定いたしました。
- No.82、本市としては初めてとなる学童クラブの民間委託を平成31年4月から実施する予定です。
- No.86、図書館運営のあり方を見直しです。これは、指定管理導入を含むあり方を見直しということで、近隣市への視察を行い、報告書を作成する予定です。
- No.91、効果的・効率的な土曜窓口サービス体制の検討です。本庁舎2階にあった障害福祉課と保険年金課を1階に移動させました。これにより、もともと1階で土曜開庁を行っていた市民窓口課と、今まで2階で土曜開庁を行っていた保険年金課が1階フロアに集合したため、今後1階フロアの現状を分析しながらサービス体制の具体的な検討を行っていきます。
- No.92、業務の見直しを含め課税事務の一部民間委託化です。平成31年1月より委託事業者による業務分析を開始しています。
- No.98、職員給与制度等の定期的見直しです。いくつかの制度を見直ししました。ラスパイレス指数は、平成29年と変わらず99でした。
- No.102、自治体クラウドによる広域連携の推進です。三鷹市、立川市ととも業務共通化を目指した取り組みです。帳票統一等の準備を進めています。
- No.107、市が持つ債権の管理のあり方について、専門性の高い弁護士を講師に招く研修会を市としては初めて実施しました。
- No.110、公共施設等の長寿命化、LED化の取り組みです、本庁舎について2階3階エリアの既存照

明器具をLED化しました。電気料がかなり削減される見込みです。

- No.112、電力調達方法の見直しです。電力自由化に伴い、公共施設の高圧電力、低圧電力について、見積合せにより決定しています。効果額は平成30年度末に確定します。
- 進捗の概略の説明は以上のとおりですが、捕捉する資料として広報2月15日号をご覧ください。2ページ目に市立病院の非紹介患者初診加算料の改定お知らせ記事をご紹介します。このような形で市民周知を行っております。
- 左3ページには、この委員会でご意見をいただきました、「第5次行財政改革大綱・平成29年度実施計画」の結果の公表記事を掲載しております。
- 議事(1)の説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

#### <委員長>

- ありがとうございました。
- 事務局より、平成30年度実施計画について、1月末までの進捗状況の報告と補足の広報記事などの説明がありました。
- ここで、質疑のお時間としたいと思います。委員の皆さまから、ご意見や質問等ございましたらよろしくよろしくお願いいたします。

#### <委員>

- 説明いただいた項目は何を基準に選定されたのでしょうか。

#### <事務局>

- 主に、前期と比べて変わったところや、動いているところ、説明文では分かりにくいと思われるところを選択してご説明いたしました。

#### <委員>

- No.93のマネジメントシステムの構築やNo.48の大成荘のあり方の見直しについては説明がなかった。
- 特にNo.93については前期でまったく進捗がなく、今度は少し進んだような説明文が書いてあったがいかがなのか。

#### <事務局>

- 今まで予算編成について、財政課は財政課、企画経営課は企画経営課で事業の行政評価を行ってまいりました。行政評価について、翌年度の予算編成に時期的に反映することが難しかったのですが、財政課とともにマネジメントを強化し、評価を次年度の予算編成に反映できるような形で連携して進めたということです。このことを新しく始めました。その中で、特に補助金・交付金を中心に見直しを財政課と企画経営課とともに行いました。マネジメント強化の一つになります。
- こちらにはまだ記載していませんし、条例が可決されないとは正式ではありませんが、組織改正により違う部という位置づけであった「地域戦略室」と企画部の「企画経営課」を統合させる予定です。総合マネジメントを進める第一歩とすべく動き出したというところです。

<委員>

○かなり進んだように受け取りました。行財政改革は財政の面で非常に重要なポイントだと思いますので、是非もっと強力に進めていただきたい。

○No.27 と 48 に大成荘のことが記載されています。この会議で私は大成荘について意見を述べたと思います。資料を見るかぎり、何をするのか、何をしたのかよく分からない。「他の市を調べる」という話があるだけでどういうようにするつもりなのか少し分かりにくいです。私はあのような施設は民間に委託する形での方向性がよろしいのではないかとということでお伺いします。

<事務局>

○No.27 は大成荘の利用料金についての項目です。No.48 は、昨年度の行政評価にかけた事業です。評価結果は、こういう施設を市が持つべきなのかよく検証するように指示が出ています。教育施設の位置付けになっているので、無くして問題があるのかということも主管課が調査中です。5次行革の最終年度である平成32年度までにあり方と方向性の決定をすることになっています。現在は委託の一形態である指定管理者制度導入施設になっています。行政評価では抜本的見直しという評価でしたので、なんらかの方向性を必ず出すということになっています。

<委員>

○効果が比較的出やすいようだというのと、この施設は日野市が持っていなければいけない理由がないのではないかとこの観点から伺っています。今後とも検討をよろしくお願いいたします。

<委員長>

○1点目の財政課との協力ということについて財政部門からご発言をお願いいたします。

<財政課長>

○いくつかポイントがあります。行政評価等で事業を見直してから予算に反映するまでの速度感が足りなかったので確実にスピードアップが図れました。市民評価委員会を含む行政評価に至らない事業もあるので、今回、それらの事業を取り上げて一定の方針が出せたものもあります。

<委員>

○事務局からの説明された資料1について口頭説明があった項目とそうでない項目がありましたが、変化があった項目について説明したということです。今更かもしれませんが、現時点での進捗状況の確認ということです。項目は多岐にわたり、主管課がコメントしていますが、例えば進捗の達成率〇〇%というような形で分かりやすく標記するということは可能なのでしょうか。あるいはあえてそうしないということでしょうか。

<事務局>

○1月末現在ということで、全体の達成率を出すようにとは主管課には指示していません。しかし、最終的に平成30年度の結果報告という形で、それぞれの個票に記載する段階では目標の達成をしたかということを書いていきます。

<委員>

○進捗状況を確認するという意味では計画どおり進んでいるかというチェックをする意味でも、例えば進捗の達成率が標記されていると分かりやすいと思います。

<委員>

○資料1の1ページのNo.4「資金運用の工夫」の中で、平成29年度実施計画とその結果の個票4の同事業で平成29年度の欄に「改定は不要と判断した。」と書かれています。ここでは、資料1では「改定の要否判断の必要性は低いと判断している」と書かれている。整合性が取れていないように感じる。

○No.5 広告収入の欄もそうですが、これは30年度 of 取組です。平成29年度の結果欄にはいろいろ書かれて成果が出ているようですが、それを全部把握していないのでよくわかりませんが、平成29年度の結果を踏まえて資料1が書かれているのでしょうか、良い成果が出ているもののあるわけであるから、それを上手く表現して、「さらにこうやった」というように書いたほうが良いと思います。

○No.4 の運用基準については改定しないことは決まっているのですよね。ということはその後は検討もなにもないのではないのでしょうか。

○それから、実施計画の冊子の個票5で広告収入について、取組み成果をいろいろ書いてありますのですごい成果だということについて、市としては分かっているから、資料1には書かないということなのかと思いますが、一般市民としてはこれは全部把握していないので、平成29年度の成果が書かれていないと、「新たな広告収入」について、あまり進捗していないように見えてしまうのではないかと思います。要するに平成29年度 of 取組はたくさん成果がある上にこの取組状況を書いてあると分かりやすいということと、No.4 の運用基準は先ほど申し上げたように齟齬があるように感じます。全部は見えていませんが、いくつか散見されるように思います。

<事務局>

○No.4 の「資金運用の基準」は、平成29年度は改定しないと判断したということです。この判断はあくまで平成29年度のことを言っていて、改定判断は毎年行うということになっていますので、平成30年度については、まだ改定する事由が発生するかもしれないが、平成30年度も改定すると決定する可能性は低いという意味で記載されています。分かりにくく申し訳ありません。

<委員>

○それでは毎年度検討するということですか。

<事務局>

○社会情勢の変化があるので、毎年度検討したいということです。

<委員>

○毎年度検討するというのはスパンが短すぎるのではないか。項目があるのでしょうか。

<企画部長>

○金利の動きは現在それほどありませんが、きめ細かくするための改定を行うかどうか、毎年度決めていくということです。多少であっても有利な運用ができるものがあって、それが運用基準にあわないのであれば、その都度見直すということだと思います。

<委員>

○そういう意味であれば理解します。しかし、資料1と実施計画との連動が少し理解しにくいと思いました。

<事務局>

○個票については、主管課で数年に1度の見直しではなくて、毎年度きめ細かく見直しを行うものもあるということで、「毎年度見直し」という個票も多くあります。

<委員>

○No.4は、平成30年度の改定という意味で理解しました。

<委員>

○ドラスティックな意見で申し訳ないのですが、進行管理としてPDCAを回すことは当然必要なのですが、せめて、前回、第1回の会議で提出された資料のように上半期の段階の進捗状況をまとめて、それをこの会議や本部会議に掛けることは大いに結構だと思いますが、この1月末現在に担当課に作成依頼をかけているわけですね。1月末現在の状況をこの会議に諮るそもそもの意味は何なのでしょう。極論をいえば本日は2月25日ですから、残りは会計年度が終わるまであとひと月しかない。終了してから担当課に照会をかけて、その結果を受けて、この会議を開けばよろしいのではないかと思います。疑問に思います。

<事務局>

○今回の5次行革の前の4次行革の際は、6年間、進捗状況のチェックが不十分で、また、市民への項目ごとの詳細な進捗の公表もしていなかったという反省、また、この会議のような外部委員の会議もなかったのもので、委員の皆さまにご意見をいただきながら、しっかり管理していきたいという意味であと1月ということはありませんが、年度が終わる前に見ていただきたいということです。

○もう一つは、のちほど、議事(2)でもご説明いたしますが、平成31年度の実施計画を作るにあたり、行うべき新たな施策があるかとか、こういう視点でやってはどうかというご意見をいただくために平成30年度中に開催したということです。

○しかし、この委員会の開催時期のタイミングについては模索中ということもあります。いつの時期にご意見をいただこうかということについては、各年度が終わって報告というよりも、中間と後半にご意見をいただければと思って開催しました。

○効率化や効果的な会議も検討する必要がありますので、会議開催の前に、しっかり主管課に対し、事務局の方でチェックを強化すべきというご意見もごもっともであると思いますので、今後開催時期について検討してまいります。

<委員>

○可能であれば、年度が終わって評価は主管課で終わらせて、結果を評価するためのこの会議でもある訳ですから、結果に基づいて新年度の工程を決めていけばよいと思います。1月末の状況を聞いてもあまり意味がないと個人的には思っています。回数などは、臨機応変に考えていただければと思います。それは希望で述べておきます。

○【資料1】は一覧にしてあり、見やすいのですが、それぞれの主管課のコメントを読むと、〇〇をやったという内容が多く、それはそれでよいが、もともとの実施計画には工程表が書かれているわけです。その工程がやれているか、やれていないかということだと思います。1つずつ調べていけば分かるのですが、それが載っていないというのは致命的な問題です。【資料1】は行ったことは書いてありますが、もともとやろうとしていた工程通りにきちんと行われているかどうかは全く分からない資料となっている。もし一覧を作るなら、せめて工程①～③について何をやるかぐらいは書いておいて、それができているかできていないか書いてあればありがたいと思います。

○また、これはあくまでもこの会議の資料であって、市民公表はやらないのでしょうか。1つ1つの工程を市民に示すということはするのでしょうか。

○30年度の実施計画実行結果は何月ごろに市民に公表するのでしょうか。

<事務局>

○平成31年度版実施計画の中で平成30年度実施結果も包含する形として公表します。平成30年度版実施計画は、一部データ待ちであったため、公表が平成31年1月になってしまいましたが、平成30年度版は、もっと早く公表したいと考えています。

<委員>

○これが表に出なければよいと思いますが、表に出す資料というのは、市長が出すものだと思いますので、【資料1】の記載内容を見ると、「予算要求中」とか「〇〇課と調整した。」などは市長が言うことではないと思います。そこが気になったので伺いました。

<事務局>

○【資料1】はあくまで、ご意見をいただくための資料です。

<委員>

○個票そのものに記載してあると分かりやすいと思います。分割されていると分かりにくいと思います。

<委員>

○年度が終了したら、個票に記載するということですね。

<事務局>

○おっしゃるとおりです。個票に記載して冊子として公表いたします。それが公のものということになります。

<委員>

○1月末の状況を書かせるというのは、担当課に余計な作業を強いていませんか。

<事務局>

○前期のあとのフォローをしっかりする必要があると考えています。また、委員の皆さまに対しても、終わった段階でお示ししてもご意見が反映できないのではないかと考え、この時期といたしました。

<委員>

○意見を求められて意見を言ってもいいですが、あとひと月しか残余期間がないというのではドラステックに物事が変わる状況でもないと思います。

<事務局>

○次年度に臨むご意見をいただくことも考えたものです。

<委員>

○115項目がただ単に計画どおり進んでいるということではなく、やっていく過程において、効果が大きいもの、具体的には金額ですが、そうでないものも当然あるでしょうが、そういう視点で見た時に重点的に進めるべきものが出てきて、その中で集中していくというのが本来やるべきことではないかと思えます。

○大して金銭的効果が大きくないネーミングライツなどと同じレベルで評価されるよりは、先ほど申し上げたマネジメントシステムの構築の方が必要だと思えます。項目の重点化をする中で出てくる見直しをしながら進めるべきだと思えます。そうしないと、最後の結果が金銭的に大きな効果が出ないのではないかと思えます。そういう重みづけは考えられないのでしょうか。

<委員長>

○大変重要なご意見だと思います。また、先ほどの達成率についても重要な意見だと思います。最後に企画部長からご所見をいただければと思います。

<企画部長>

○所管課にそこまで負担をかけなくてもという話ですが、行革の管理については事業所管課にとっては、なかなか大変な仕事ではありますが、5次行革になった際に、管理する項目を大幅に絞りこんで470項目を現在115項目にしたので所管課にとっては相当取り組みやすくなっていると思えます。項目が減ったのであるから集中的に取り組んでほしいというところです。

○数と範囲についてはドラステックに改革したつもりですので、進行管理はきちんとやっていきたい。

○事業を止めるとか変えるというのは時間も労力もかかることであるため、難しい部分もありますが、しっかりやってもらいたいと思っています。

○効果のあるものを重点的にするべきというお話は、おっしゃる通りであると思えます。そういう項目も含めて絞り込んで選定した項目ですので、大きな効果がある、例えば、ある事業を完全に委託するなどという変更や進行には時間がかかることですので、そういう意味でも小さい項目を積み上

げていくということも忘れてはならないと思います。大きい効果があるものもしっかり行っていきながら、そうでないものもしっかり行ってまいります。

<委員長>

ありがとうございます。その他何かございますか。

—「ないです」という声あり。—

## 【議事（2）】

<委員長>

他に質問がないようでしたら、議事（2）第5次日野市行財政改革大綱・実施計画の平成31年度計画（案）について（新規取組項目など）に移らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

<事務局>

○平成31年度計画（案）についてです。第5次行財政改革実施計画の事業個票は、全部で115項目ございます。この個票は年度ごとに随時見直すこととなっています。

○事務局で見直しを行った結果、現存する115項目はそのまま継続とすること。

○さらに、後ほどご説明いたしますが、平成30年度の行政評価結果から、「休止・廃止」「抜本的見直し」とした事業のうち、実現に数年を要する事業について、新たな個票としたいと考えております。

○第5次行財政改革大綱実施計画平成30年度版の11ページをご覧ください。「行政評価の結果の反映」としてこの中央にある黒★、これが、平成29年度行政評価で「抜本的見直し」となった項目を追加しましたが、このようなイメージです。

○具体的な項目としては、【資料2】平成30年度行政評価結果をご覧ください。3ページをご覧ください、この中の②車いすタクシー運行事業補助金、③ねたきり高齢者看護手当、④福祉センター入浴事業、⑤太陽光発電システム等設置補助金、⑧剪定枝・チップ化業務委託、⑨アクティブシニア就業支援センター補助金、⑩日野市内共通商品券事業補助金のうちで、7つの事業について個票として管理すべき事業について、選定中です。市で調整していきたいと考えています。

○この行政評価結果は、市民評価委員会でご意見をいただき、最終的に市の内部会議である日野市行財政改革推進本部会議で決定したものです。

○この結果は、市ホームページに掲載するとともに、広報ひの1月15日号において市民の皆様にお知らせいたしました。広報ひの1月15日号をご覧ください。

○今回、結果の詳細を始めて広報に掲載しました。昨年度までは、事業名とその結果を広報に記載していなかったのですが、あえて詳細に広報に掲載したところでした。これを受けて、評価結果をすぐ実現した場合は良いですが、達成まで数年を要する事業については、行革個票として新規追加したいと考えています。どの事業を新規追加するかについてはまだ検討中でございます。

○本日は、現在の115項目とただいま申し上げた平成30年度行政評価結果ならの事業以外に、新たな行革項目として掲げてはどうかという具体的な内容のご意見がございましたら挙げていただき、平成31年度実施計画策定の参考にしたいと考えております。説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

<委員長>

○平成31年度に新規で掲げるべき項目はありますかという提案がありました。

この件について、委員の皆さまから、ご意見等ありますでしょうか。また、事務局からの説明内容についての質疑もお受けしたいと思います。

<委員>

○基本的には行政評価の項目は積極的に加えていただきたいと思います。

<委員>

○広報だけ見ると「休止・廃止」として強い印象がありますが、市民評価結果や行政評価結果の冊子を見ると、背景をみると老朽化しているという前提のもとに評価しているようなので、広報だけ見ると利用者からご意見が出てくる可能性はあると思います。よく説明していただくとよろしいと思います。

<企画部長>

○おっしゃるとおりです。そこを説明しないで一方的に進めるだけでは仕事になりません。同じタイミングで多摩地域の市で施設の入浴設備を廃止という新聞記事が掲載されていました。

<委員>

○行政評価の10項目の改革こそが本当の改革であると感じます。こういうものを正面から取り組んでほしい。市民評価意見書を見ると、廃止の代替案も提案されている。平成30年度の行政評価結果は行革個票に反映することに賛成する。

<委員>

○新規項目の提案は、市のいろいろな仕事を熟知していないとできないと感じます。

○また、行政評価の内容で聞きたい。この10事業は市が一方的に決めている事業ですか。

<事務局>

○市がご提案した事業です。

<委員>

○10事業選定の根拠はなんですか。

<事務局>

○【資料2】日野市行政評価結果2ページの上段(3)のとおりです。しっかりご議論いただくために、事業数は絞ってあります。

<委員>

○個人的な意見ですが、事業の選択も当該委員会で選ぶべきだと思います。事業の全体の数はどのくらいあるのでしょうか。

<事務局>

○予算書の「経費」単位で700経費の中から、人件費や消耗品費のみの経費、外部評価に馴染みにくいと思われる経費を除き、4年間継続し、かつ3年以上市民評価、本部評価を行っていない、約100経費程度です。

<委員>

○市が都合のよい事業を選びがちになると思います。やりやすいところを選ぶわけですから。本当に行革に反映したければ、そういうのをすべて指示していただく必要があります。

<企画部長>

○行政評価の選定は、やりやすい事業ということではなく、市民のご意見をいただきたい事業を選定したものです。子どもの世代、孫の世代にツケを回すことになるという視点で事業を厳選しました。

<事務局>

○行政評価のあり方もご意見を踏まえて改善していきたいと思っております。

<委員>

○今年の行政評価は、すでに個票に上がっている項目が入っていますが、どのように考えたらよいのでしょうか。

<事務局>

○⑨のアクティブシニア就業支援センター補助金と⑩の日野市内共通商品券事業補助金です。行政評価結果の内容を反映します。

<委員>

○最近、テレビや新聞等で話題の「職員手帳」はこの項目にはないのでしょうか。

<企画部長>

○単年度の事業ですので、入りません。

<委員>

○こういうところに書いて、職員の意欲向上に寄与してもいいのかなと思いました。

<委員>

○No.95の組織の生産性向上が「検討中」ということになっていますが、どうしてでしょうか。

<事務局>

○「職員提案」と「業務改善」の項目です。

<委員>

○職員の意欲向上に関連するのではないのでしょうか。

<事務局>

○関連していますが、「職員提案」自体はやっていないので、「検討中」ということにしています。

<委員>

○書いてあげてもいいのかなと思います。

<事務局>

○No.95の成果として「職員手帳」を書くか検討します。

<企画部長>

○職員提案は、なかなかうまく行かず、頭を悩ませています。

<委員>

○強制的に1課1提案をさせるようにはしないのですか。そこまでやって、さらに報償制度とかを設けないとなかなか上がってこないと思います。

<企画部長>

○なんらかの報償は必要だと思います。

<委員>

○自分の仕事に関係ないものを出させる制度なのですか。

<企画部長>

○そうです。

<委員>

○職員が起案し、決裁を受けて、評価を受けて、実施して表彰されるわけですね。それは市の決定だからやるのですよね。

<事務局>

○数年前まで職員提案と業務改善は別々に行っていたのですが、それを上手く融合できないかと研究していて、数年経ってしまいました。

<企画部長>

○工夫してみる必要があると感じています。

<委員>

○物が言えない風土になっていないか心配です。

<委員>

○職員の提案制度についてです。一般的に女性の方がちょっとした改善提案を出すことが多いと聞きます。

<委員>

○メーカーや民間事業者では昔からそういう制度があると聞きます。職場の業務改善をグループで競いあって、表彰、報償などがありますね。

<委員>

○改善テーマは山のようにあるのではないかと思います。

○よく市民会館を活用するのですが、インターネットで予約はできるのですが、領収書が手書きなのです。それに時間がかかり、帰りに寄ってくれとか言われます。予約はインターネットで領収書が手書きで非常にアンバランスを感じます。なんで自動でできないかと聞くと、たくさん帳票が残っているからという答えが返ってきた。改善できるにも関わらず旧態依然としてそういうことをやっているということが浪費と思います。しかし、指定管理者として企業公社がやっていることだからということでしょうけれどと思います。

○例えばということでお話しましたが、そういうことは日常茶飯事なのではないかと思います。庁舎の中でもそういうことはごろごろと事案はあるのではないかと思います。

<事務局>

○業務改善は、数年前に実施していた際は、市長賞などを選定し、庁内で共有しつつ市長から賞状を渡したりしていたのですが、現在は休止しています。

<委員長>

○他にございますでしょうか。ないようでしたらこの議題は終了します。

○事務局は、各委員の意見について、実施計画への反映などの検討を行ってください。

<事務局>

○かしこまりました。

### 【議事（3）】

<委員長>

○議事（3）その他（事務連絡など）などに入ります。事務局から事務連絡をお願いします。

<事務局>

○今後の予定でございます。

○第5次行財政改革大綱実施計画【2019年度版】についてです。年度がかわりましたら、それぞれ

の個票の平成30年度の実績、成果欄に記載をいたします。また、新たな個票を追加した上、(案)を作成します。

○平成31年度第1回のこの会議ですが、平成30年度の成果が出そろった段階で、6月下旬頃に開催を予定しております。なるべく早めに日程調整のご連絡をさせていただきます。事務局からのご報告は以上です。

<委員長>

○他になにかございますでしょうか。

<委員>

○6月に一括して会議でやってもよかったと思いますが、時期についてはよろしいと思います。

<委員長>

○他にないようでしたら、これをもちまして、平成30年度第2回日野市行財政改革推進委員会を終了させていただきます。

○本日も有意義な議論をしていただき、ありがとうございました。これで閉会させていただきます。皆さま、ご協力ありがとうございました。